

TEL 233 340 000
FAX 224 313 684
Email Jschool@volny.cz

VLTAVA

学校教育目標

「自ら学び 共に学ぶ 豊かな心と国際性あふれる たくましい児童生徒の育成」

目指す子ども像

「かしこい子・やさしい子・たくましい子・世界で生きる子」

新年の抱負の賞味期限は？

(1月5日始業式講話より)

明けましておめでとうございます。2017年、そして平成29年が始まりました。日本では昔からこのお正月特に元旦は特別な日として祝ってきました。昔の人は、年齢を元旦が来るたびに1才増やしていました。つまり、全員のお誕生日がお正月の元旦になるわけです。その日に年を増やす神様、つまり歳神様(としがみさま)が来ると言われていました。ですから、歳神様を新年に迎えるために、日本では門松、しめ飾りや鏡餅、破魔矢などを飾っているのです。でも、これらはチェコでは手に入りませんので、我が家ではクリスマスリースがしめ飾り気分です。ちなみに、チェコではクリスマスツリーは1月6日の3賢人の日まで飾ってから片づける習慣があり、日本ではしめ飾りや鏡餅は1月7日や15日までとやはり地域によって違ってきます。



さて、新しい年が始まりました。一年の計は元旦にありと言われてます。「計」と言うのは、計画と言う意味ですから、新年にあたって今年一年の計画や目標を立てましょうということです。皆さんは、1年の始まりにあたって目標や計画を立てましたか。この「始まり」と言うのは、「終わり」と深くつながっています。何かが始まるということは、何かが終わったからであり、多くの場合人は何かが終わった時に、次の目標を立てようと考えます。12月には、2学期が終わり、1年が終わりました。この「終わり」には、通知表をもらったり、自分で1年を振り返ったりして、「来年はこうしよう!」「これをやるぞ!」と言う決意が生まれます。終わりがないと、新しい目標も計画も立てられないからです。でも、新しい目標は意外と賞味期限が早くて、あっという間に忘れられてしまいます。運動の大会や英語検定や漢字検定など、何かが終わったその時には、「次は絶対にもっと上を目指すぞ!」と強く本気で決心するのですが、簡単に決意は忘れ去られてしまうのです。ところで、皆さんは、去年の元旦に立てた抱負を覚えていますか?

目標を忘れてしまう・・・これを防ぐ方法は一つしかありません。大きな目標を立てたら、それを実現するための小さな目標をいくつか作って、それを毎日毎日コツコツと継続するしかありません。「継続は力なり」です。すでに新年の目標を立てた人が多いと思いますが、それを実現するための小さな具体的な目標を立ててください。もっと大きな話をすれば、夢は追いつける人がつかむことが出来るのです。英語で言うと、Never give up!かな。

3学期は、新しい学年につながる大切な終わりの時期ですもあります。4月には、進級したり、学校が変わったり、高校に行ったりなど大きな変化の時が来ます。そして、変化の時は、ジャンプの時でもあります。充実した3学期を過ごして、4月からのジャンプに備えましょう。

※医療相談について※

医療に関する不安を少しでも軽減するために、次のような団体や医師がメールや電話による医療相談を受け付けています。詳しくは、裏面の「子ども医療メール相談」をご覧ください。◎電話健康相談(欧州日本人医師会)

◎こども医療メール相談(田中孝明医師・川崎医科大学総合医療センター小児科)

